

ほんべつ

議会だより

No.50

平成21年8月1日発行

活性化に関する
町民懇談会を
8月7日・8日

に開催します。

詳しくは2ページに
記載しています。



未来のメダリストを目指して

水泳少年団の子供たち

議会に関する
アンケートのご協力
ありがとうございました

町民懇談会を開催します。

本別町議会の議会活性化等調査特別委員会で、今年4月下旬に実施いたしました町民アンケートの回収率は38.5%で、308名の方から貴重な御意見をいただくことができました。心よりお礼申し上げます。

また、下記の日程で活性化に関する「町民懇談会」を開催しますので、多くの方の参加をお待ちしています。

日時	場所	
8月7日(金) 午後7時～9時 終了予定	本別町体育館 中競技室	1班
	仙美里農業担い手センター	2班
8月8日(土) 午後7時～9時 終了予定	勇足地区公民館	1班
	美里別地区公民館	2班

議員は2班に分かれて対応します (*主な答弁者、○司会)

1班 (*高橋・小笠原・○三好・目黒・阿保・方川(英)・佐川)

2班 (*方川(一)・黒山・○林・山田・戸田・山西・永井)

笠原議長 すべての会場に出席します。

議員報酬等について

◎町民アンケートで多くの方からいただいた御質問にお答えします。

Q 議員は報酬のほかにどんな手当が支給されていますか？

A 月額報酬の他、期末手当、費用弁償が表のとおり支給されています。

	議長	副議長	委員長	議員
月額報酬	292,000円	230,000円	204,000円	185,000円
期末手当	月額報酬の4.2ヵ月分(6月1.9ヵ月分、12月2.3ヵ月分支給)			
費用弁償	自宅から役場まで片道3km以上の議員に、1km当たり30円を往復分支給(本会議、委員会、議員協議会出席時のみ) ----- 十勝管外出張時のみ旅費を支給しています。			
日当	なし	} 本町は従来より支給していません。		
扶養手当	なし			
住居手当	なし			
政務調査費	なし			
退職金	なし (退職金として町から1期ごとに支給するものではありません)			
退職一時金	在職期間3年以上12年未満で議員を退職したときに、町村議会議員共済会から退職一時金が支給されます。(個人掛金額の4.9%~6.3%)			
退職年金	在職期間12年以上で議員を退職したときに、町村議会議員共済会から議員年金が支給されます。			

- ・海外視察研修は平成9年(平成8年3名参加)から、道外視察研修は平成14年から実施していません。
- ・姉妹都市提携している徳島県小松島市への交流訪問は、議員の自費で2年に1度実施しています。(町の経費は一切ありません)

議会に対するご意見、要望は…

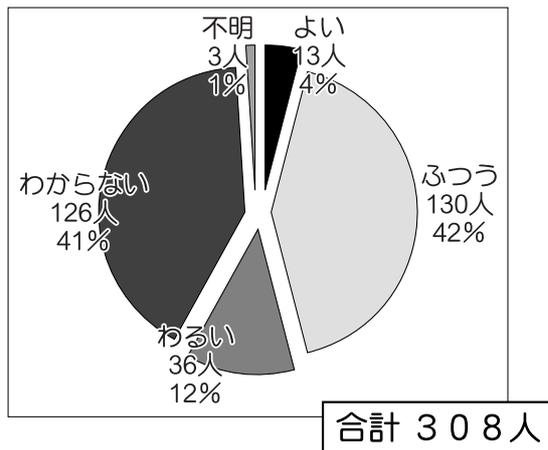
「議会に関する町民アンケート」の結果・概要は、議会の活性化等調査特別委員会・速報版No. 2『まちづくり』で要約してお知らせしましたが、議会だよりでは問4、7、8、9についてグラフ化するなどして、あらためてお知らせします。

問4. 本別町の議会の活動に対してどのような印象をお持ちですか教えてください。

- ①よい ②ふつう ③わるい ④わからない

- ◎ 「よい・ふつう」と答えた人は46%、「わるい」と答えた人は12%です。
- ◎ 「わるい」と答えた36人のうち、35人の方が意見を記載されています。

③わるい とお書きの方は、その理由を教えてください。

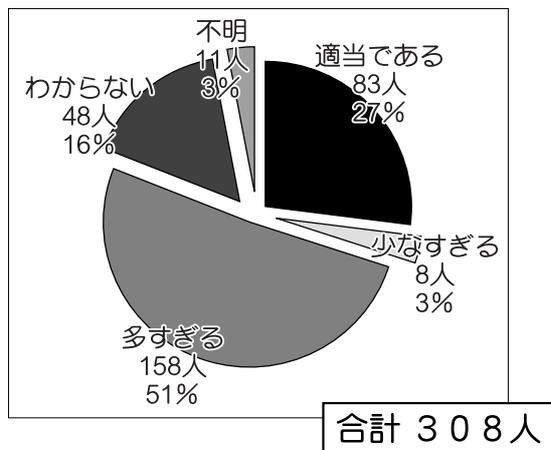
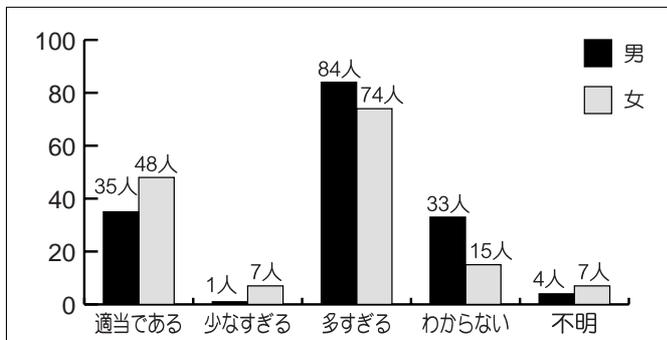


「わるい」と答えた方の意見（35人の方の意見のうち、主な意見4件を掲載します）

- ・ 本別町の行政のことを真剣に考えている人が少ない、町民の声が届いていない気がする。
- ・ 委員会活動についての町民理解の徹底が十分とは言えない。視察（各委員会）についての成果があるとは思えない。
- ・ 年に一、二度の町議全員の議会活動報告会を開催すべきである。
- ・ 活発な意見がまるでない議会です。議員全員がイエスマンばかり。

問7. 本町議会議員に月額18万5千円の報酬が支給されていますが、どのように考えますか教えてください。

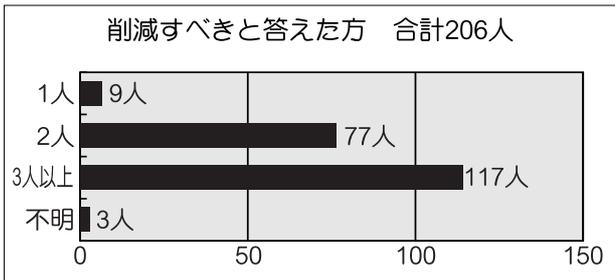
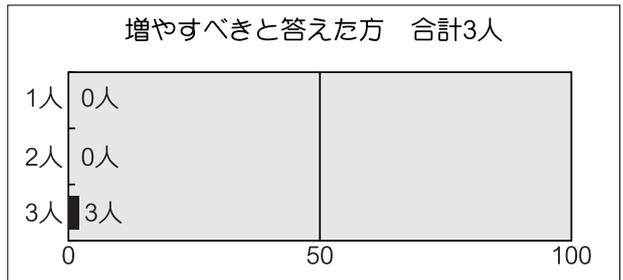
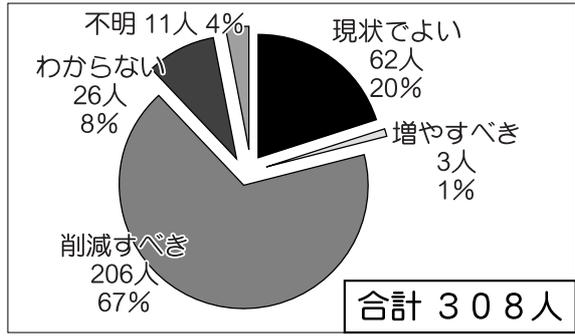
- ① 適当である ② 少なすぎる
③ 多すぎる ④ わからない



- ◎ 議員報酬が「多すぎる」と答えた方が51%、「適当である」、「少なすぎる」と答えた方を合わせると30%になります。
- ◎ 男性の方が「多すぎる」「わからない」が多く、女性の方が「適当である」、「少なすぎる」と答えた方が多かった。

問8. 本町議会議員の現在の定数は15名（法定上限数は18名）ですが、これについてどう思いますか教えてください。

- ① 現状でよい ② 増やすべき
 - ③ 削減すべき ④ わからない
- ◎ 議員定数を「削減すべき」と答えた方は67%、「現状でよい」、「増やすべき」と答えた方を合わせると21%。
- ◎ 定数を3人以上「削減すべき」と答えた方が117人います。



「3人増やすべき」と答えた方の意見（3人の方の意見のうち、主な意見1件を掲載します）

- ・ 町政のチェック機能を果たせないと思う。

「削減すべき」と答えた方の意見（155人の方の意見のうち、主な意見7件を掲載します）

1人削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ あまり削減すると町民の意見が反映されない。
2人削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ 十勝管内平均が13.3名なので2名減で13名がいいと思います。 ・ 人口も減ってきている、今後のことを考えて、今のうちから色々な面で支出を少なくして、町政の安定を図って欲しい、町議も2人くらい減らして議員1人ひとりの活躍をしてほしい。
3人以上削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ ①人数の少ないほうが、個性的な発想を実現しやすい。 ・ ②報酬の総額を少なくする事によって、浮いた分を他に廻すことができる。 ・ 本別町の人口も減少にあります。町の財政も苦しくなって来ています。議員数が少ないからと言って活動には支障はないと思います。 ・ 報酬を少なくするのではなく、少数でも町政の監視チェックはできるし、そうあるべき。 ・ 人口が減少してきている事もありますが、少数精鋭で町政に取り組む人材を望んでいます。形式的な議会での質問は「議会だより」を見ても、町民としては余り感ずるところはないです。町民の願っていることを報酬目的で立候補するのではなく、町民の付託に答えてくれるため、1ランク、2ランク上の考え方で活動してくれる人材が町政に携わって欲しいです。

問9. 最後に、本町議会に対するご意見、要望等がありましたら教えてください。

(110人の方の意見・要望等のうち、主な意見7件を掲載します)

- 報酬であり給料ではないはずですが、給料と思っている議員がいるようです。私達も行政にたよっているだけでなく、何ができるか自己改革が必要であり、議員の方々も町民の代表、代弁者として議員・議会の改革が重要であります。
- 子育て世代へ、町のより充実したサービスを望みます。また、今は土・日・祝日に関係なく仕事をする時代だと思います。保育所も祝日、日曜日の稼働を検討していただきたいと強く思います。
- 町内に若い人たちが定住しやすくなるように低価格のアパートを建設することなど外に出ざるを得ない状況を検討してほしい。
- 町議職は、町民全員のためにある公平な立場です。一部の親しい方や、裕福な方にだけでなく、職業、老若男女問わず町民が暮らしやすい町づくりのために尽力いただきたいと思います。上からの目線ではなく、下からの目線でどうあるべきなのかを導いてくださることを期待しております。
- 町民が欲しがっているものを討論してほしい。職場・環境・福祉、まだまだ足りない。死ぬまで安心して住める町づくりをお願いします。
- 議会を聞きに行ったときのこと、①言葉が難しすぎてよく理解できない。②あくびをしている議員がいた ③質問をしている他の議員の緊張感がない。
- 意見等、町づくりのための意見箱等あれば良い。又は思った事を言える連絡先などが若い人に理解されていないので町全体が解りやすいようにしてほしい。

全道議員研修に参加



6月30日、札幌市において開催された北海道町村議会議員研修会に参加してきました。

講師は山梨学院大学の江藤俊昭教授と読売新聞特別編集委員の橋本五郎氏で、町村議会の定数のあり方や、地方議会の役割、現時点での政局について講演がありました。

江藤氏は、これからは「自治体・議会基本条例」を自治体の憲法として制定し、住民と共に歩む、責任ある議会活動を目指すことの重要性を強調していました。また、橋本氏は、「地方の田舎でつましく暮らしている国民に目を向けることこそ、政治の役割では」と話されていました。

芽室町議会が視察来町

6月25日、芽室町議会の「議員定数・報酬等調査特別委員会」の議員7名が来町し、議会活性化の取り組みについてなど、本町議員と意見交換等研修を行いました。



釧路町議会が視察来町



7月7日、釧路町議会社会文教常任委員会の9名が来町し、本別町の「福祉でまちづくり」について研修しました。

第2回定例会

平成21年度一般会計他4会計の補正予算を可決

平成21年第2回定例会は、6月9日に開会し、一般質問のほか国民健康保険条例の一部改正、栄町公営住宅建替工事の請負契約などを審議し、全て原案どおり可決しました。審議された主な内容は次のとおりです。

一般会計補正

新エネルギービジョン

問 新エネルギービジョン策定は、どのようなエネルギー資源を調査するのか。

答 CO₂排出量の町内調査と、太陽光や家畜ふん尿などエネルギーの基本データ調査を行います。また、太陽光の一般住宅への導入等、採算性を含めて事業化へ向けた実施計画の策定を検討したいと考えています。

向陽町公営住宅

問 ①向陽町団地公営住宅改善設計委託ではどのような改善を行うのか。



改修が予定される向陽町団地

答 ②現在、入居している方の移転に対する対応は。

答 ①駐車場や通路等の配置の見直し、また、既存住宅の風呂、トイレの面積を広げるなど、1棟をどのように改修するか検討します。
②工事は23年度から着工したいと考えており、移転に際しては、入居者の要望に沿った対応をしたいと思えます。

安心生活創造事業

国の新規モデル事業で、一人暮らしの高齢者等の生活支援などを行う事業に対する質疑。

問 国の補助は3年間とされているが、事業の見直しは。

答 国の補助は3年間の予定ですが、その後も事業の財源を地域で確保できるように体制作りを検討していきます。

新型インフルエンザ

問 対策本部の状況と対策方法は。

答 道内での感染が確認されました。まずは公共施設での消毒と、広報等で情報を提供し、新型インフルエンザへの感染予防対策を周知していきたいと考えています。
今後拡大するようなことがあれば、新たな対策の強化を考えます。

国民健康保険病院事業会計補正

問 ①新型インフルエンザ対策の防護服、マスクはどの程度確保するのか。
②発熱外来は病院のどこに設置するのか。

答 ①防護服については繰り返し使用し、保護メガネ50個、ガウン300枚、マスク5,000枚などを予算計上しています。
②発熱外来は救急処置室を予定しており、感染拡大期には受付用に正面玄関にプレハブを設置する予定です。



2,000人分備蓄されているタミフル

平成21年度 各会計補正予算

会計	補正額 (補正後の額)	主な内容
一般会計	6,117万3千円 (60億747万9千円)	新エネルギービジョン策定委託料 安心生活創造事業委託料 向陽町団地公営住宅改善設計委託料
国民健康保険	150万4千円 (14億894万2千円)	健康管理事業 臨時保健師賃金
老人保健	2,235万5千円 (2,587万2千円)	一般会計繰入金精算
後期高齢者医療	44万1千円 (9,910万6千円)	事務用備品
介護サービス事業	40万円 (2億5,843万7千円)	施設等備品
国保病院事業会計	543万5千円 (16億5,084万4千円)	薬品費 (新型インフルエンザ治療薬)

第2回臨時会

開催日 5月25日

条例改正

職員の給与に関する条例の一部改正

人事院による国家公務員の期末・勤勉手当の額を引き下げる臨時勧告に伴い、本町職員の6月期末勤勉手当の支給割合を0.2カ月分削減する条例改正に対する質疑。

問 全国の自治体で独自削減を行っているなかで、この臨時勧告を受けて手

の削減を行うことは、民間企業や地域経済に影響するのでは。

答

今までも、人事院の勧告に沿う形で進めてきました。役職加算は継続して凍結してありますが、本年は地域経済も踏まえて基本給の独自削減は行っていません。改正による削減総額は2,345万2千円です。

議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

議員の6月期末手当の支給割合についても、0.2カ月分削減しました。(議員提案)削減総額は59万7千円です。

行政報告

6月9日の第2回定例会において、高橋町長から行政報告がありました。(抜粋)

第2回定例会

20年度決算見込み

一般会計の決算見込みは、歳入68億2,969万8千円で、歳出が67億9,499万1千円となる見込みです。

特別会計の決算見込み総額は歳入35億9,395万2千円で、歳出が34億9,615万6千円となる見込みです。

水道事業会計の決算見込みは、収入1億4,072万7千円、支出が1億3,943万6千円となる見込みです。

病院事業会計の決算見込みは、収入12億2,555万4千円、支出が13億7,339万2千円となる見込みで、平成20年度末の未処理欠損金は12億8,090万3千円となる見込みです。

町税等の収納決算見込み

20年度分普通税(町民税、固定資産税、たばこ税など)の収納済額は約9億3,188万円で、98.5%の収納率、前年度比同率。国保税の収納済額は約3億675万円で前年度比1.0%の減となりました。

新型インフルエンザ対策について

4月30日に対策推進会議を開催し、町民の相談窓口を健康管理センターに設置しました。

また、道内での発生を

受け、対策マニュアルに基づき、対策本部を設置し、情報の周知や相談窓口の強化、まん延期の国保病院での発熱外来設置等の医療体制確保等、その状況に応じて対策を行います。

常勤医師確保について



新しく着任した磯村医師

5月から新たな常勤医師として、岡山県出身の磯村泰之医師を迎えました。

磯村医師は、内科一般を幅広く診ることができ、経験豊富な医師であり、町民のかかりつけ医として活躍いただけることを期待しています。

一般質問

6名の議員から8問



経済・産業

答 国の補正予算を地域経済に波及させる対策は消費拡大や購買推進につなげるよう努める



林 武議員

よる経済波及とその評価は。

② 国の補正予算による本町の財政投資は地域経済に大きな影響がありますが、活性化対策は。

林議員 公共事業の縮減、設備投資を含めた民間需要の減少、先行き不透明な現状では、買い控えによる消費の伸び悩み、購買力の低下につながり、商工業の実態経済は大変厳しい状況下にあります。活性化対策について伺います。

① 平成20年度の財政投資に



国の景気対策で体育館の補修

高橋町長 ① 愛町購買と景気対策として、プレミアム商品券に町が助成し商工会で実施しました。また、定額給付金、学校耐震事業の前倒し等、本町経済に効果のある事業を実施し、一定の経済効果があったと考えます。

② 本町には2億2,591万円の交付金が見込まれていますが、地元経済に元気が出て、商工振興、雇用対策にもつながる事業を実施します。

また、道の補助金である、ふるさと雇用再生特別交付金を活用し、観光案内や特産品のPRのため、NPO法人銀河ほんべつに委託をし、観光振興と雇用対策を推進します。

答 クリーンエネルギーの太陽光発電を推進すべきでは実施の方向で計画を進めていきます



目黒金次郎議員

検証しながら、支援制度についても検討します。

目黒議員 十勝の町村会長として、太陽光発電システムの普及を進めるため、国に対して交渉（補助金の増）すべきだと思います。

高橋町長 『地球温暖化対策』は国も進めなければならぬ問題ですし、本町も目標を定めて、取り組みます。

目黒議員 『温暖化対策』が全世界的に、その実現が論議されています。その対策の一つとして『太陽光発電システム』があり、十勝管内では8市町村が、助成を実施しています。助成内容は町村によって異なりますが、それらを参考に、本町も実施すべきだと思います。

高橋町長 本町は全国的に見ても日照時間が非常に長く、有効な手段と考えています。

これから『新エネルギービジョン策定委員会』を設置し、太陽光発電設備に対する事業の採算性も



北見市の学校のソーラーシステム（行政視察より）



福祉・暮らし

介護判定新基準、影響と対応は

【答】軽度化になった方はいたが、サービスは継続



阿保静夫議員

阿保議員 4月からの介護認定基準見直しは、給付費削減まずありきであったと考えます。

第1回定例会の答弁は、「より客観的な判定基準を設けたもので、判定の軽度化にはならない。『特記事項』の活用で、必要なサービスは提供する」という主旨でしたが、その後「再見直し」がされ、4月からスタートとなりました。

①新基準で、より軽い判定となった事例は。また、施設退所やサービス基準の引下げ等はなかったか。

②必要なサービスの提供は後退させるべきではないと考えますが、対応は。



憩いのひととき（老人ホーム）

高橋町長 制度の矛盾は感じているが、利用者に迷惑はかけません。

①40件中13件が軽度判定になり、うち6件は状態変化なく軽度になったが希望で従来介護度となりました。また、施設退所になった例はありません。

②（必要な）サービスは堅持し後退はさせません。



農業

農業基本構想、町の役割は

【答】担い手対策は急務の課題です

阿保議員 「後継者がいない」35%という実態の中で、基本構想と振興5カ年計画を踏まえ、町が特に力を入れていくものとして、「明暗渠、排水整備などの基盤整備」および「新たな担い手対策」を挙げていますが、以下について見解を伺います。

①基本構想で示す「小回り

のきく土地改良事業」は大切なことですが、どのように進める考えか。

②新たな担い手対策として、新規参入者の受け入れと、居住対策などを含めてどう進めるのか。

高橋町長 ①高額となる補助メニューにこだわらず、現場

に合った小規模な土地改良事業などを組み入れ、事業コストの低減を図ります。

②農家戸数の減少と後継者不足を解消するため、担い手対策は急務の課題です。農協等と協議しながら新規参入、農家の住み替え、研修施設の整備などを検討します。また、参入者の住居は街の空き住宅や空き店舗、町施設などを有効活用します。



実りの秋を願って

本別町農業基本構想とは

本町農業が21世紀にふさわしい産業として維持発展していくため、平成25年度を目標として策定された農業振興策です。農業者及び農業関係機関の共通の指針となります。



もつり
博士から

本別町農業基本構想の課題と対応は 答 将来展望を含めた環境条件整備を



戸田 徹議員

戸田議員 ①農業経済の現状で、平成14年時より赤字化比率の増加要因は。

②暗渠排水等の基盤整備事業では、農家希望者のどの程度が事業計画されているか。

③耕作放棄地の発生防止への対処法は。

④農家戸数の減少、規模拡大を担う農地の交換分合事業の現状と見通しは。

⑤農地法第3条及び基盤強化法による賃借契約がされていない農地はどのくらいか。

高橋町長 ①農産物、乳価の変動、飼料の高騰、国の経営安定対策の見直しなどが一因と考えます。

②実施したアンケート結果を踏まえて、関係機関の協力を得て新規事業として立ち上

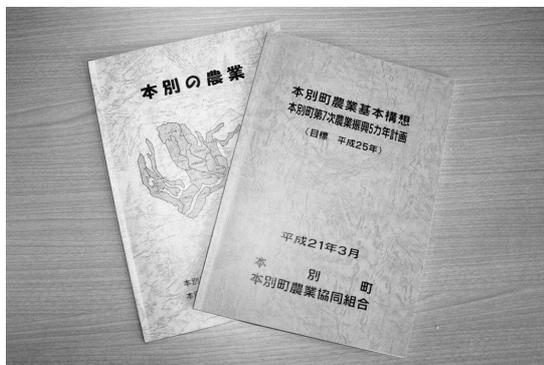
げる計画です。

安田農業委員会事務局長

③耕作放棄地は町内に45haあり、所有者に農地に戻してもらおうよう努力します。

④戸数は今後も減少すると予想しており、農作業等の効率の面からも、交換分合事業を推進します。

⑤未契約と思われる農地は約580haあり、制度改正されない解消は現状では困難です。



農業基本構想計画書



観光

道の駅オープンに伴うまちづくりは 答 関係団体と連携して進めます



高橋利勝議員

高橋議員 道の駅「ステラ★ほんべつ」と町の振興について伺います。

①道の駅は4月20日オープン以降、町外から多くの人々が訪れています。町の振興、まちづくりにとどのように生かしていく考えか。

②道の駅のオープンによって、本別公園への相乗効果が言われていますが今後の対応は。

③多目的ホールの有効活用を図り、駐車場は山手町側に入出口を設けるべきとの声があるが。

高橋町長 ①道の駅は4月20日にオープンしてか

ら4月は約13,000人、5月が23,000人が訪れました。観光情報、イベント情報の発信、特産品の販売の拠点として、関係団体と連携をしてさらに進めていきます。

②公園への新たな来訪者が増える可能性もありますので、自然を主体とした環境整備や飲食のできる場の整備に鋭意取り組んでいきます。

③それぞれ、関係機関と協議して取り組みを進めます。



道の駅案内板



教 育

いじめをなくす環境づくりは 生徒、保護者、学校が連携し取り組みます



小笠原良美議員

小笠原議員 いじめをなくし、子どもが過ごしやすい環境づくりについて伺います。

①町内小中学校に不登校の生徒はいますか。原因の把握はできていますか。
②いじめの実態調査はどのような行っていますか。

③教育委員会や学校はいじめに対してどのような対策をとっていますか。

④子どもの悩みを受け止めるひとつの方法として、意見箱を設置しては。

澤田教育長 ①一名おります。要因は把握していますが、いじめが原因との報告は受けておりません。

②③教員が生徒の友人関係や言動の変化などを観察、子どもの悩み発見に努めていますし、家庭への情報提供や支援も行っています。

研修会の開催や危機管理マニュアル、チェックリストによる指導や、管理職、教育アドバイザーが全校訪問などを行っています。

④教室内や相談室前などに意見箱を設置していますが、場所や活用方法を各学校と相談します。



高飛びの授業が終わってホッとひといき

児童会・生徒会活動の充実を 安心の居場所づくりとなるよう活動の充実を図ります



3・6年生交流給食：カレーまつり

を高めるための児童会、生徒会活動の状況は。

澤田教育長 ①本町では本年度4月21日に実施しており、その結果を活用する方策として、学校改善プランを作成し、児童生徒一人ひとりの学習改善や意欲の向上を図っています。

②完全実施までの経過措置として、各学校の実情に合わせ外国語活動の授業時間を設定しており、教員は道教委の研修会に参加していきます。

③小学校の児童会に自浄能力を求めるのは困難な点もありますが、児童会、生徒会活動を通して諸課題の防止策につなげていきたいと思っています。

高橋議員 子供たちが安心して学べる学校づくりについて、以下3点伺います。

①毎年4月に実施されている全国学力テストの本町の経過と考え方について。

②二〇一一年から実施される小学校の外国語活動の取り組み状況と考え方は。

③不登校、いじめ、暴力などをいかに予防するか、その一つである生徒間の自浄能力

意見書

第2回定例会に提出された意見書案7件は原案どおり可決され、内閣総理大臣、厚生労働大臣など関係機関へ送付しました。

【要旨掲載】

核兵器の廃絶と恒久平和を求める意見書

政府においては、核兵器の廃絶と恒久平和実現のため、被爆65周年を迎える2010年に開かれる核拡散防止条約（NPT）再検討会議に向けて、実効ある核兵器廃絶の合意がなされるべく核軍縮、不拡散外交に強力に取り組みられるよう強く求める。

提出者 高橋利勝



現行保育制度の堅持・拡充と保育・学童保育・子育て支援予算の大幅な増額を求める意見書

国・自治体の責任で保育・学童保育・子育て支援策を大幅に拡充することを要望します。

1. 児童福祉法24条を堅持・拡充すること。
2. 保育所最低基準を堅持すること。
3. 待機児解消のための特別予算措置を行うこと。

提出者 小笠原良美



所得税法第56条の廃止を求める意見書

所得税法第56条は白色申告を行う中小業者などの配偶者や親族等の家族従業員への賃金を必要経費に認めていないことは制度の矛盾であり、人権問題でもあります。よって、所得税法第56条を廃止することを強く求めるものです。

提出者 阿保静夫



季節労働者対策の強化を求める要望意見書

提出者 阿保静夫



勤労貧困層の解消に向けた社会的セーフティネットの再構築に関する要望意見書

提出者 黒山久男



北海道地域最低賃金の大幅な改善を求める意見書

提出者 方川一郎



2010年度国家予算編成における義務教育無償、義務教育費国庫負担制度の堅持と負担率二分の一復元、就学援助制度充実など教育予算の確保・拡充を求める意見書

提出者 佐川逸雄



議会用語の解説

《繰越明許費》

通常、公共工事などの予算の執行は3月31日の年度末までに終わるよう事業を行います。降の翌年度も継続して、その事業を実施することが必要な場合、議会の議決を経なければなりません。

20年度では定額給付金事業や特別養護老人ホーム暖房設備改修工事などを繰越明許費として21年度に実施しています。

次の定例会は

10月5日から
予定しています

私たちの住みまちの議会です
どなたも自由に傍聴できます
あなたも傍聴してみませんか

行政視察研修

総務

常任委員会

調査日 平成21年5月18日～20日

〔石狩支庁管内 当別町〕

「協働の指針」策定について

当別町は自立した町づくりを目指して「町行財政システム再構築プラン」を策定しました。再構築プランでは、協働による町づくりを基本とし、平成19年に「協働の指針」を策定しま



当別町での行政視察

した。

「協働の指針」の概要は、

『①「協働の指針」のキャッチフレーズは、私が変わる!! まちが変わる!!』

② 協働の必要性等

③ 今後の取り組みとして必要項目

④ 「協働の指針」策定後の体制づくり

⑤ ボランティア活動に対する留意事項』

となっております。

「協働の指針」は策定すること自体が目的ではなく、策定後に具体的な取り組みをいかに推進していくかという点により、その真価が問われるとしています。

まとめ

「協働の指針」策定により、町民も行政もお互いに意識改革をすることができ、さらに取り組みを進めることで、災害時の隣近所の安否確認や、新たなコミュニティとしての支え合い

の仕組みが生まれることから、本町の町づくりにも参考になりました。

この他、下川町の「地域

活性化対策（町づくり）」について研修しましたが、両町とも合併が破綻になり新しい町づくりを町民が主体となって策定されています。また、両町とも役場職員（課長職）に担当地域が決められており、普段から地域問題解決に努力している事も参考となりました。

産業厚生

常任委員会

調査日 平成21年5月13日～15日

〔網走支庁管内 北見市〕

太陽光発電導入について

北見市では北大工学部と連携して昭和58年から太陽熱を利用、温水器の研究に取り組んできました。

平成3年からはソーラーカーレースを主催、オホーツク新エネルギー開発推進機構と市、北大の産・官・学で太陽光利用の研究を行

い、平成12、13年に新エネルギービジョンを策定し、「太陽熱」から「太陽光」に取り組みを変換しました。

市では、平成14年から個人住宅の太陽光発電システム設置に対して、補助を行っており、平成20年までに、この補助制度を利用してシステムを設置した累計は291件となっています。

公共施設へのシステム導入は2小学校、幼稚園、市民プール、複合施設（児童館、図書館など併設）で、街灯などにも導入されています。

太陽光発電システム導入補助金について

一般家庭の平均的設置3kW、（パネル18枚）では、国の補助額1kW7万円、上限3kW（21万円）まで、市が1kW4万円、上限3kW（12万円）で合計33万円となっています。

まとめ

北見市ではCO₂削減効果、新たなエネルギー源と



太陽光パネル設置の北見市相内支所

して太陽光発電に注目し、個人住宅への設置を推進するために補助制度を導入しています。

本町においても新エネルギービジョンの策定が予定されているが、CO₂削減効果、化石エネルギーに代わるエネルギーとして、太陽光発電システムの導入に取り組むことが望まれます。

この他、町立病院の診療所化はしないと町民にアピールした標茶町と、家畜のふん尿をバイオエネルギーに活用しようとする研究している別海町を視察してきました。



要点議論をしっかりと



新町 木村邦子さん

今回、議会の傍聴が7回目とおっしゃる木村邦子さんにお話を伺いました。議会を傍聴しての感想は、「一般質問ですが、要点議論をしてほしいですし、答弁、再質問はもっとわかりやすく的確に行われると、傍聴者も理解しやすいと思います」議会の活性化等調査特別委員会を実施した町民アンケート調査について「議員定数は、人口減少を考慮のうえ、決めてほしいですね。報酬については、しっかりと確保して報酬に見合った働きをしていただきたいと思います」

また、「アンケートの結果を、できるだけ早く報告してほしい」とのことでした。「私たち住民は、議会や議員の役割を十分理解していません」とも話されていました。木村さんは、調剤薬局に勤務するかたわら、山野草を愛でることが趣味で、ひとりでも散策に出掛けることもあるとか。また、13年ほど前に知人宅で美味しいお煎茶をご馳走になったことがきっかけとなり、それ以来、お友だちとお煎茶道を楽しんでいるそうです。

議会日誌

〔 4 月 〕



- 3日 議会広報特別委員会
- 6日 議会活性化部会
- 14日 議会広報特別委員会
- 15日 十勝議長会役員会（帯広市）
- 17日 十勝議長会定例会（帯広市）
- 21日 議会広報特別委員会、議会活性化部会、広報広聴部会、企画調整部会
- 27日 議会活性化部会、財務行政懇話会、十勝林活議連合同役員会（帯広市）
- 30日 議会の活性化等調査特別委員会

〔 5 月 〕



- 13日～15日 産業厚生常任委員会行政視察（標茶町、別海町、北見市）
- 14日 支庁制度改革等に係る地域意見交換会（帯広市）
- 15日 議会運営委員会、議員協議会
- 18日～20日 総務常任委員会行政視察（下川町、当別町）
- 20日 十勝圏活性化推進期成会総会（帯広市）
- 25日 第2回臨時会、議員協議会、議会運営委員会、議会活性化部会、広報広聴部会、総合計画研修会

〔 6 月 〕



- 1日 十勝林活議連第11回総会（帯広市）
- 3日 北海道横断自動車道北見地区早期建設促進期成会平成21年度総会（北見市）
- 4日 第60回北海道町村議会議長会定期総会（札幌市）
- 5日 議会運営委員会
- 6日～7日 東京本別会定期総会（東京都）
- 9日 第2回定例会開会、議員協議会、議員会役員会、本別林活議連役員会、総務常任委員会、産業厚生常任委員会、議会活性化部会、広報広聴部会
- 12日 議会運営委員会
- 16日 本会議（一般質問）、総務常任委員会、議員会役員会
- 17日 本会議（議案審議）、本別林活議連総会、議員協議会、議会広報特別委員会、議会活性化部会、広報広聴部会三役会
- 21日～22日 札幌本別会定期総会（札幌市）
- 25日 芽室町議会視察来町
- 26日 池北三町行政事務組合臨時会（足寄町）
- 28日 地域政策懇談会（幕別町）
- 30日～7月1日 北海道町村議会議員研修会（札幌市）

〔 7 月 〕



- 3日 議会広報特別委員会、企画調整部会
- 7日 釧路町議会視察来町

編集後記

▼本別町の議会のあり方を検討する議会活性化等調査特別委員会は、二つの部会を中心に連日活発に活動しています。町民に理解され、納得される結論を▼6月30日全道町村議員研修会が札幌市で行われ、当町議会も全員が参加し話しをじっくり聞く機会がありました。読売新聞の橋本五郎さんから、地方が疲弊状態の中で、自分の母親の生き様を通して地方における課題についての指摘は強烈に心に入り込み、残された議員活動の中で、少しでもゆがみを正さねばと感じています▼今は、小麦の刈入れの真最中でしゅうか。天候の不順は大きく収穫に影響があると思われませんが、平年並以上の成果があることを期待しています▼今回は記念すべき50号です。今後もよろしくお願いします。

広報委員 戸田 徹